

「工務店・大工さんへ」

“植物生まれ”のシロアリ防除剤

ファーストガード®

水性木部処理剤

ファーストガード® WR

土壌処理剤

ファーストガード® 粒剤

日本エンバイロケミカルズ株式会社

塗 る

ファーストガード® WR

木部の防腐・防虫・防蟻剤

用 途

木部の防腐、およびシロアリ等の木材害虫の防除

特 長

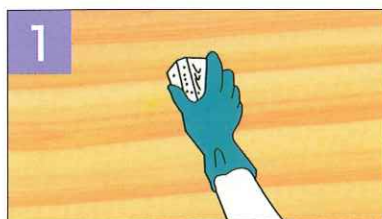
1. 植物生まれの天然成分配合
2. 使いやすい水性タイプ
3. 木部への高浸透性

性状および仕様

1. 外 観 : 乳白色液体
2. 成 分 : ヤシ油成分 (カプリン酸)
ヒバ中性油
菜種油 等
3. 比 重 : 0.99 (20℃)
4. 標準使用量 : 0.2 ~ 0.25L/㎡ (4 ~ 5㎡/L)
5. 包装容量 : 16L 缶



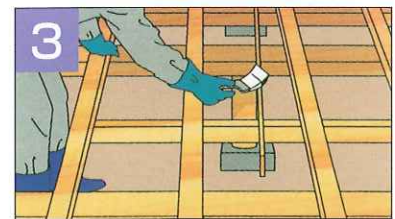
使用方法と施工手順



1 塗る面のゴミ、ほこりを取って下さい。ペンキ・ニスなどの旧塗膜はサンドペーパーなどを使って完全に除去して下さい。



2 缶を逆さまにしてよく振り、キャップをはずして棒などで缶の底までよくかきまぜて、うすめずにそのままお使い下さい。



3 ハケ塗りで0.2 ~ 0.25L/㎡を塗布して下さい。約24時間の乾燥時間が必要です。

使用上の注意

- ①処理時は乳白色ですが、乾燥後は透明になります。
- ②低温時に固まることがありますが、品質上何等問題はありません。温水等で温めてご使用下さい。
- ③木材の表面に、均一に標準使用量の薬剤が付着するよう処理して下さい。
- ④最終加工を行った段階で薬剤処理をして下さい。
- ⑤処理材に塗装および接着処理することは避けて下さい。
- ⑥処理材にクッションフロア、壁紙(ビニールシート)を直接貼ることはしないで下さい。
- ⑦乾燥時間は温度や湿度で長くなる場合があります。
- ⑧使用後のハケ等の後始末は、乾かないうちに水でよく洗って下さい。

ま く

ファーストガード®粒剤

新シロアリ防除用土壌処理剤

特 長

1. 植物生まれの天然成分配合
2. 簡単に使用できる粒剤タイプ

用 途

建物の床下土壌用シロアリ防除

性状および仕様

1. 外 観：淡黄褐色の粒剤
2. 成 分：ヤシ油成分（カプリン酸）
ヒバ中性油
ウコン（生薬系）等
3. かさ比重：0.7～0.8（20℃）
4. 標準使用量：0.4～0.5kg/m（5cm～10cm幅）
（20kgで約10坪敷設できます）
5. 包装容量：10kg×2袋…1ケース
5kg×2箱…1ケース

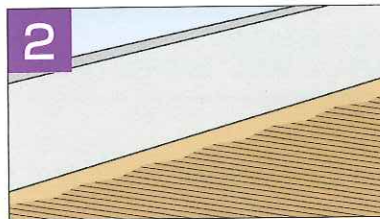


(社)日本木材保存協会認定薬剤
(財)文化財虫害研究所認定薬剤

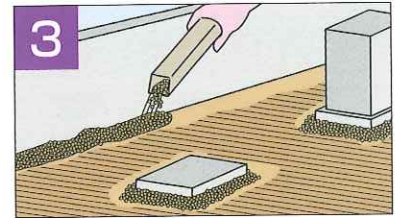
使用方法と施工手順



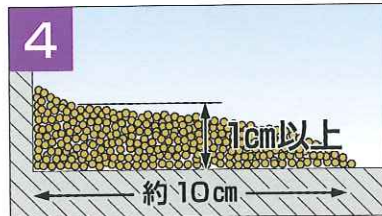
1 床下のゴミ、木ざれ、カンナくずなどを完全に除去して下さい。



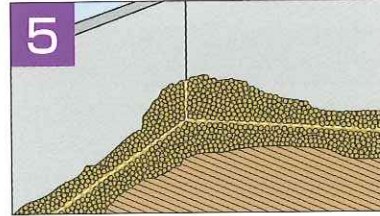
2 基礎コンクリートの内側、束石の周囲等の地面はできるだけ平滑にして下さい。



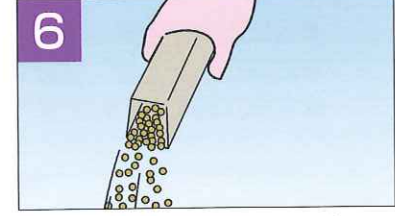
3 基礎コンクリートの内側、束石の周囲等に沿ってファーストガード粒剤を約10cm巾に敷設して下さい。



4 壁面（垂直面）際の厚みは最低1cm以上を保つよう敷設して下さい。



5 シロアリが上がりやすいコーナー部やコンクリートの継ぎ目部分などは特に多めに敷設して下さい。



6 同封の紙製専用器具は組み立ててお使い下さい。

使用上の注意

- ①ファーストガード粒剤は厚みをもって敷設するのがポイントです。壁面立ち上がり部分の厚みは必ず1cm以上になるように敷設して下さい。
- ②ファーストガード粒剤の敷設量は、場所により適量を調節して下さい。
- ③土間コンクリートの場合はコンクリートの打設前または打設後にファーストガード粒剤を敷設して下さい。
- ④本剤が袋中で固まっていることがあります。品質上何等问题はありません。よくほぐしてからご使用下さい。

ファーストガード®WR

①防蟻効力試験（近畿大学農学部データ）

（社）日本木材保存協会規格第11号の1（塗布・吹付け・浸せき処理用木材防蟻剤の防蟻効力試験方法、室内試験方法）

種 別		死虫率(%)		質量減少率(%)		備 考
		最小-最大	平均	最小-最大	平均	
処理試験体	耐候操作あり	20-28	24	0.3-0.6	0.5	弱い忌避性が認められた。
	耐候操作なし	21-30	25	0.0-0.8	0.3	
無処理試験体		11-28	18	28.3-36.8	33.1	

耐候操作の有無にかかわらず処理試験体の質量減少率は3%以下であり、規格に適合。

②防腐効力試験（社内データ）

（社）日本木材保存協会規格第1号に準じる（塗布・吹付け・浸せき処理用木材防腐剤の防腐効力試験方法、耐候操作なし）

供試菌	樹 種	濃 度	平均質量減少率(%)	無処理試験体の平均質量減少率(%)
オオウズラタケ	ス ギ	原液	2.7	31.3
カワラタケ	ブ ナ	原液	2.8	25.8

オオウズラタケ及びカワラタケに対し、平均質量減少率が3%以下となり、規格に適合。

③鉄腐食性試験（社内データ）

（社）日本木材保存協会規格第5号（塗布・吹付け・浸せき処理用木材防腐剤の鉄腐食性試験方法）

$$\text{鉄腐食比} = \frac{\text{処理試験体のくぎの平均質量減少率(%)}}{\text{無処理試験体のくぎの平均質量減少率(%)}} = 1.1$$

鉄腐食比が2.0以下となり、規格に適合。

④吸湿性試験（社内データ）

（社）日本木材保存協会規格第6号（塗布・吹付け・浸せき処理用木材防腐剤の吸湿性試験方法）

$$\text{吸湿比} = \frac{\text{処理試験体の平均吸湿率(%)}}{\text{無処理試験体の平均吸湿率(%)}} = 1.0$$

吸湿比が1.2以下となり、規格に適合。

ファーストガード®粒剤

①防蟻効力試験（近畿大学農学部データ）

（社）日本木材保存協会規格第13号（土壌処理用防蟻剤の防蟻効力試験方法、室内試験方法）

土 壤		穿 孔 度		備 考
		耐 候 操 作		
		あ り	な し	
処 理 土 壤	1	0	0	死亡数少ない
	2	0	0	
	3	0	0	
無処理土壌	1	穿孔度5以上に達した日数	1日後	
	2		1日後	
	3		1日後	

②防蟻効力試験（社内データ）

（社）日本木材保存協会規格第13号に準じる（土壌処理用防蟻剤の防蟻効力試験方法、野外試験方法）

土 壤	杭の本数	食 害 の 有 無		備 考
		1 年 目	2 年 目	
処 理 土 壤	5	0 / 5	0 / 5	食害数 / 総数
無処理土壌	3	3 / 3	3 / 3	

以上の結果からファーストガード粒剤は十分に性能評価基準を満たしている。

主成分

主成分は植物生まれ!

- ヤシ油脂肪酸
- ヒバ中性油
- 生薬ウコン



ファーストガードの主成分である「ヤシ油脂肪酸(カプリン酸)」の開発と実用化に対し、社団法人日本木材保存協会よりその功績が讃えられ、2001年5月14日、木材保存技術奨励賞を受賞致しました。

安全性データ

【カプリン酸として】

①急性毒性：

(経口毒性) LD ₅₀ ラット	> 2,000mg / kg
	> 10,000mg / kg…①
(経皮毒性) LD ₅₀ ラット	> 2,000mg / kg
(吸入毒性) LC ₅₀ ラット	> 5.05mg / L 吸入4hrs

(試験機関：ハンティンドン ライフサイエンス株式会社)
(ただし、①はアメリカ国立労働安全衛生研究所による)

②皮膚刺激性：

家兎：刺激性有り。8あるいは9日後に回復。

(試験機関：財団法人食品農医薬品安全評価センター)

③眼粘膜刺激性：

家兎：刺激性有り。8から15日後に回復。

(試験機関：ハンティンドン ライフサイエンス株式会社)

④変異原性：

Ames テストの結果、陰性

(試験機関：ハンティンドン ライフサイエンス株式会社)

⑤魚類に対する毒性：

LC₅₀コイ > 10ppm / 48時間

LC₅₀オオミジンコ > 100ppm / 3時間

(試験機関：財団法人食品農医薬品安全評価センター)

⑥感作性：

Maximisation 法による試験の結果、感作性なし

(試験機関：ハンティンドン ライフサイエンス株式会社)

(参考) ヒバ中性油の急性毒性：

(経口毒性) LD₅₀ラット > 5,000mg / kg

取扱い上の注意事項

【使用に際しての注意】

ご使用の際は必ずラベル並びにパンフレット等をよくお読みのうえ、施工して下さい。ラベル並びにパンフレット等に記載した使用方法や注意事項等を守らないで生じた事故についての責任は負うことが出来ません。不明な点や事故等があった場合は当社へお問い合わせ下さい。

【安全上の注意】

- ①作業中は保護手袋や保護眼鏡、保護マスク等を着用し、皮膚についた薬剤はすぐに水洗いして下さい。
- ②環境を汚染しないためにも乱用は避けて下さい。また、コイなどの養魚池、井戸、地下水などを汚染する恐れのある場所、水棲生物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないで下さい。
- ③食器棚、玩具等の木材には使用しないで下さい。
- ④アレルギー体質、偏頭痛、特異体質の人は作業しないで下さい。
- ⑤作業後は手洗い、うがいをして下さい。作業衣も洗濯して下さい。
- ⑥手や肌が荒れた時は石けん水で洗い、ハンドクリームを塗って下さい。
- ⑦使用器具類は専用のものでし、作業後は水と中性洗剤で洗って下さい。

【取扱い上の注意】

- ①残った薬剤はふたをし、直射日光を避けて保存して下さい。
- ②やむを得ず薬剤を捨てる時は、木部処理剤は新聞紙等に塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。土壌処理剤の残粒は、焼却により処分して下さい。
- ③下水、河川、池、湖沼、海、井戸、地下水等を汚濁させるおそれのある場所で使用しないで下さい。
- ④おもちゃ、寝具、衣類、貴重品、美術品、楽器、電気製品、石材、漆喰、白木、プラスチック等にかからないようにして下さい。
- ⑤食品、飼料等にかからないようにして下さい。
- ⑥他の塗料、他の薬剤と混合しないで下さい。

【保管上の注意】

- ①子供の手の届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないよう注意して下さい。
- ②雨水、直射日光、高温・多湿、潮風を避けて下さい。
- ③8～35℃の間で保管して下さい。
- ④盗難、紛失、流失等の事故防止に努めて下さい。

【緊急処置】

下記のようなことが起きた場合は応急処置をし、必要に応じ医師の診察を受けて下さい。

医師の診察を受ける際は薬剤名、成分（カプリン酸、ヒバ中性油）、症状、被爆状況を告げて下さい。

- 目に入ったとき：多量の水で十分に洗って下さい。
- 飲み込んだとき：すみやかに医師の診察を受けて下さい。
- 気分が悪くなったとき：作業を直ちに中止し空気の清浄な場所で安静にして下さい。

■お問い合わせ・ご用命は…

日本エンバイロケミカルズ株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町二丁目3番8号 大和道修町ビル2階 TEL.06-6204-2454 FAX.06-6204-2443

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番1号シーバンスN館9階 TEL.03-5444-9881 FAX.03-5444-9862

ホームページアドレス <http://www.jechem.co.jp>